

第199回
わくハラ
勉強会

講座開催のご案内

講座の受講は1つだけでも、すべてでも、いくつでもご参加いただいて構いません。お聞きになりたい講座の、開始時間までにお越しください。

※前講座との入れ替えのため、多少お待ちいただく場合があります。

●日時 **11月21日** **土** 講座の簡単な内容や講師プロフィールはこちら ▶▶▶▶▶▶

●13:30~14:20 講師 ●エルビス高橋 (静岡市在住)

やっぱり仏法かな? ファイナル

●14:30~15:20 講師 ●高橋 なおと (藤枝市在住)

ななアド読書会って、こんなに面白い!

●15:30~16:20 講師 ●横井 圭介 (静岡市在住)

ある男の黒歴史

~知られざるK左の世界 リターンズ~

●定員 **30名** ※定員になりしだい受付終了

※申込みはこちら ▶▶ <https://take-a.info/wakuharaf1> ▶▶



●会場 **蓮長寺 (2F 大客殿)**

- ・三重之塔があるお寺
- ・門をくぐり右手の建物2階が会場
- ・駐車場あり (無料・お寺の門前)
- ・静岡市葵区沓谷1344-13



googleMap



●静鉄 長沼駅・千代田小学校前バス停から徒歩約10分

●17:30~ 懇親会 (静岡駅周辺・街中の予定 ※希望者のみ・フォームから事前申込必須)

主催: 静岡わくわくハラハラ勉強会

静岡から日本を元気に!
がコンセプト。

自分の知りたいことを聞くことができる。 聞く人は「わくわく」教える人は「ハラハラ」。
自分が得意なことを教えることもできる。 ワイワイ楽しい勉強会をゆる〜く開催中!!

こちらで最新情報をチェックできます▶Facebookページ▶www.facebook.com/shizuoka.wakuhara

講座内容・講師のご紹介

●13:30~ やっぱり仏法かな? ファイナル

私の命の恩人のお坊さんのお話をさせていただきます。

今、生きていられるのはこのお坊さんのおかげだと思っています。

講師 ●エルビス高橋 (静岡市在住)

52才で欠席者の出た、タロット教室にさくらで出席。土日にボランティアでタロットを始め、現在4,000人をタロットリーディングをやってきました。『テキトーだが元気がもらえるタロット』をモットーにしております。現在68才。好きなもの美女。好きな言葉『行き当たりバッチリ』

●14:30~ ななアド読書会って、こんなに面白い!

同じ本を読んでも、人によって感じ方や考え方はさまざま。なぜ、同じものを見ているのに、見え方が違うのでしょうか?

「見え方の違い」をテーマに、人それぞれの価値観や考え方について考えながら、自分とは違う視点に出会うことの面白さをお伝えします。自分とは違う見方を知り、受け止め、対話することで、自分の世界が広がっていく。本を読むだけではない、人と人とのつながりや対話から生まれる気づき、そして「ななアド読書会」の魅力をご紹介します。

講師 ●高橋 なおと (藤枝市在住)

サラリーマン歴34年、中間管理職として8年の経験を持つ。銀座コーチングスクール認定コーチ。管理職になったことをきっかけに、自分自身の能力開発の必要性を感じ、学びをスタート。それまで年間1冊も読まなかった読書習慣が、年間約100冊を読むまでに変化した。アドラー心理学や「7つの習慣」との出会いを経て、読書会の面白さと、人との対話から生まれる気づきの深さに感動。現在は、妻とともに「ななアド読書会」を開催している。

●15:30~ ある男の黒歴史

~知られざるK左の世界 リターンズ~

今年の3月16日、沖縄の辺野古海域で、17歳の女性が、所属していた高校の修学旅行で基地抗議船に乗せられ、転覆して亡くなるという痛ましい事件が発生しました。

イデオロギーが、夢と希望に溢れた知華さんという尊い一人の無限の可能性を奪っただけではなく、基地反対協議会なる団体をはじめとした大人達は、他責の論理を振りかざし、自分達の落ち度に向き合わない姿をこの間晒し続けています。

自らもかつて、その立場に属した人間として、反省とささやかな贖罪として、自らの黒歴史を再び告白する事を決意しました。

講師 ●横井 圭介 (静岡市在住)

愛知県名古屋市生まれ。富山大学を皮切りに5年北陸に住む。就職後半年で辞めフリーターに。そこから神父を目指しイエズス会に入会。修練者となる。修練の病院実習として1ヶ月間葵区足久保のかなの家に派遣され、知的障害の仲間と出会う。条件付けでない迎え入れというものをその際経験し、この人達の傍にいたいと願い、イエズス会を退会。かなの家に。2024年4月ともの家に移る。障害福祉とまちづくりの融合を目指し、また盲亀浮木をモットーに、學んでいる観相学を活かして人の天命使命を伝える役割を担いたいと歩んでいる。